

20 歳～59 歳の従業員規模 50 名以上の企業に勤めるビジネスパーソン 500 名に聞いた

「働き方改革に関する調査」

取り組んでほしい内容は「休暇取得の促進」、「働く環境・場所の改善」 在宅ワーカー・テレワーカー「効率が上がった」と約 7 割が回答！

働き方改革のカギはオンライン MTG にあり？

1 秒でオンラインミーティングを開始できるサービス「meet in（ミートイン）」を提供する株式会社 meet in（東京都豊島区）は、2018 年 5 月 17 日（木）に働き方改革に関する調査を行いました。

＜調査背景＞

「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」「育児や介護との両立など、働く方のニーズの多様化」などの状況に直面し、政府は「働き方改革」を推進しています。今国会の最重要法案のひとつでもある「働き方改革」関連法案が国会に提出され話題となっていますが、実際に企業の環境整備は進んでいるのでしょうか。また、ビジネスパーソンはどのように感じているのでしょうか。そこで「働き方改革」に関する調査を行いました。報道の一資料として、ぜひご活用ください。

【調査概要】

1. 調査の方法：WEB アンケート方式で実施
2. 調査の対象：20 歳～59 歳の従業員規模 50 名以上の企業に勤める会社員を対象に実施
3. 有効回答数：500 名
4. 調査実施日：2018 年 5 月 17 日（木）

◆「働き方改革に関する調査」トピックス

会社で働き方改革に取り組んでいる？

昨今話題の働き方改革だが、取り組んでいる企業は全体の 4 割程度となった。

取り組んでいる内容/取り組んでほしい内容は？

取り組んでいる内容は「残業時間の削減」、「休暇取得の促進」が上位に。取り組んでほしい内容は「休暇取得の促進」と「働く環境・場所の改善」。“時間”と“場所”に関する項目が上位となった。

実際に取り入れている制度は？

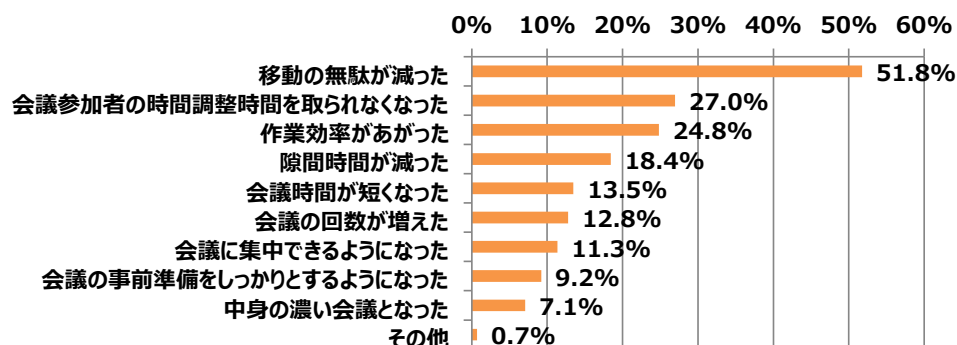
実際には「育児休暇」、「介護休暇」など休暇に関する制度を導入している企業が多いことがわかった。取り組んでほしい内容で上位となった「働く環境・場所の改善」につながる制度、「在宅ワーク」等の導入は 1 割程度。

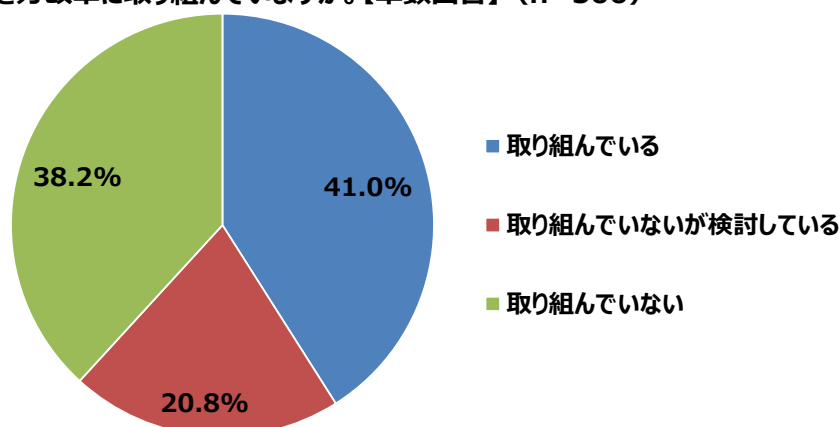
在宅ワーカー・テレワーカー・モバイルワーカーはどこで働いている？効率はどのように変化した？

「勤務先のオフィス」をメインに働きながらも、「自宅」や「カフェ」で仕事をしているようだ。効率は合計 68.1%が上がったと回答。自宅でも集中して仕事をしていることがうかがえる結果となった。

オンライン MTG をしたことで変わったことは？

「移動時間の削減」、「会議参加者の調整時間削減」、「作業効率が上がった」との声。

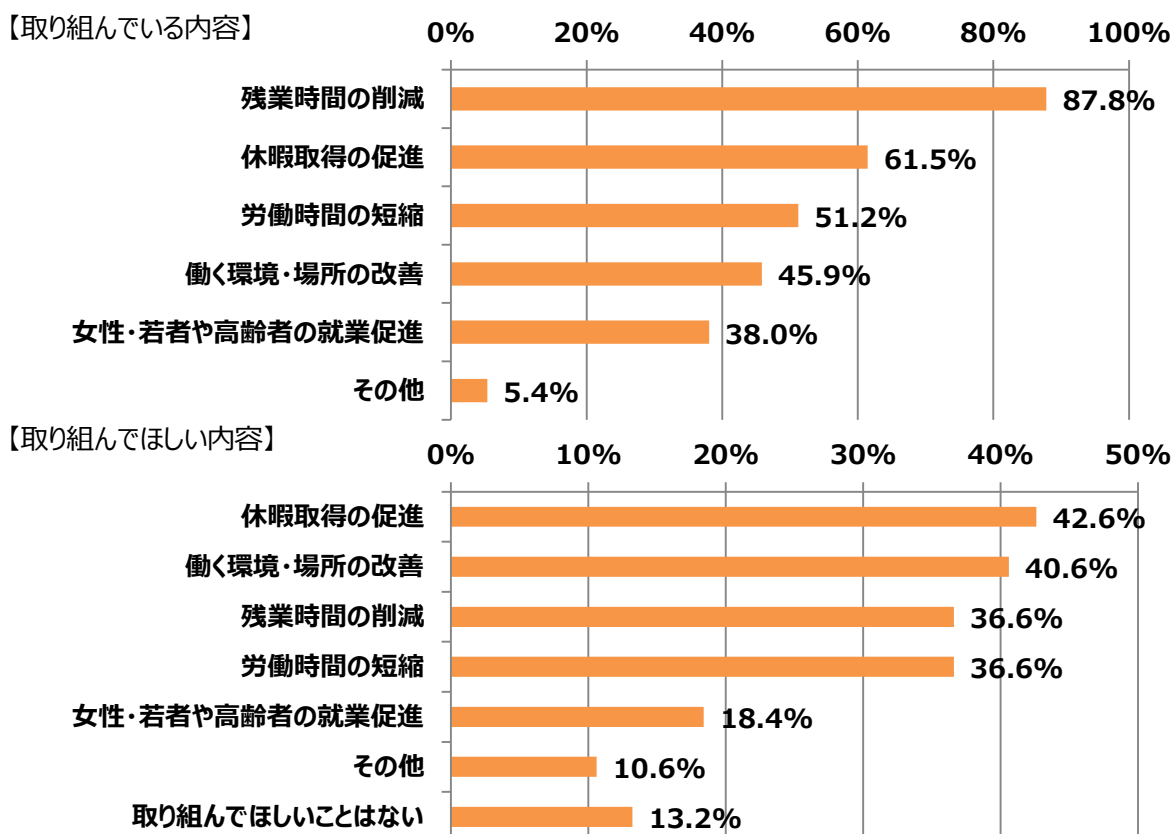


Q1.あなたの会社は働き方改革に取り組んでいますか。【単数回答】（n=500）


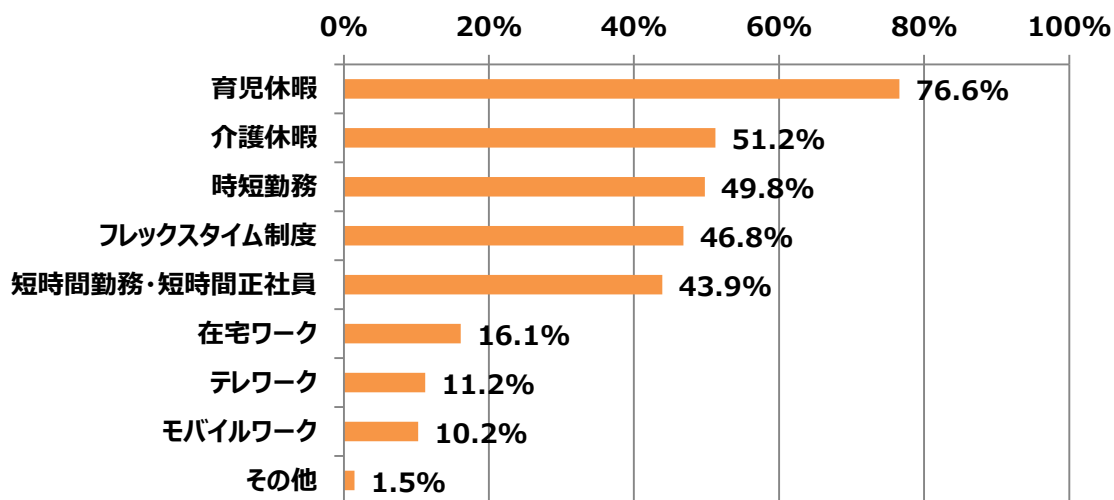
現在お勤めの会社が働き方改革に取り組んでいるかをお聞きたところ、「取り組んでいる」が 41.0%で最も多い回答となりました。また、「取り組んでいないが検討している」と回答した方も 20.8%いらっしゃいました。安倍首相が内閣官房に「働き方改革実現推進室」を設置し、働き方改革の取り組みを提唱した 2016 年 9 月から 1 年半ほど経過していますが、実際取り組んでいる企業は 4 割程度にとどまる結果となりました。

Q2.あなたの会社で取り組んでいる働き方改革の内容をお答えください。【複数回答】（n=205）

また取り組んでほしい内容をお答えください。【複数回答】（n=500）



取り組んでいる内容は「残業時間の削減」と回答した方が最も多く 87.8%、次いで「休暇取得の促進」61.5%、「労働時間の短縮」51.2%となりました。働く“時間”に関わる項目が上位となっています。取り組んでほしい内容では「休暇取得の促進」が最も多く 42.6%、次いで「働く環境・場所の改善」40.6%と続きます。働く“時間”に加え、“場所”に関する項目が上位になりました。

Q3.あなたのお勤めの会社で、実際に取り入れている制度をお答えください。【複数回答】（n=205）


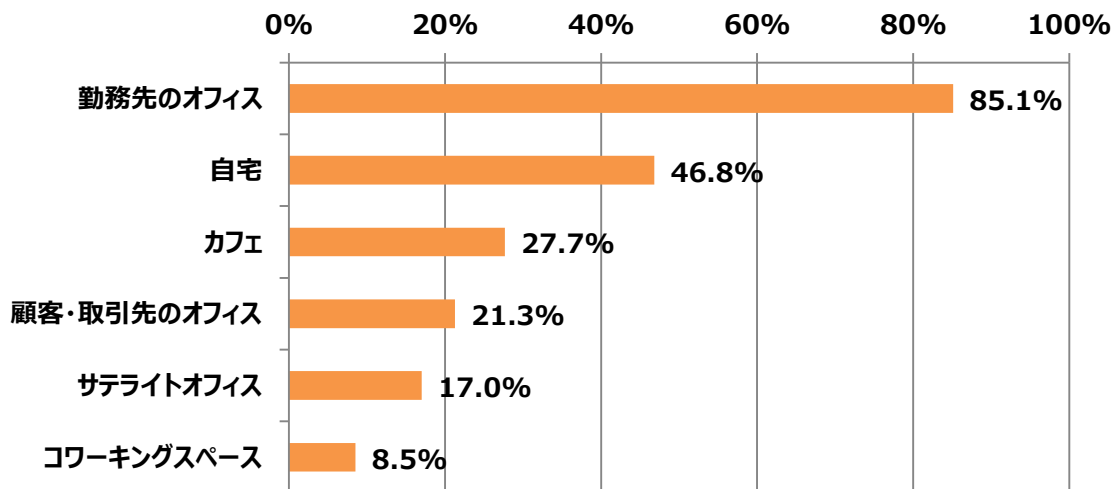
実際には「育児休暇」、「介護休暇」など休暇に関する制度を導入している企業が多いことが上記グラフから読み取れます。前問の取り組んでほしい内容で上位となった「働く環境・場所の改善」につながる制度、「在宅ワーク」や「テレワーク」、「モバイルワーク」の導入は 1 割程度となり、場所にとらわれない働き方の制度を導入している企業はまだ少ないようです。

Q4.制度が導入されたことによって変わったことをそれぞれお答えください。【複数回答】

	1位		2位		3位	
育児休暇 (n=157)	家族などとのコミュニケーションが増えた	24.8%	仕事に集中できるようになった	8.3%	体調がよくなった 仕事効率が上がった	6.4%
介護休暇 (n=105)	家族などとのコミュニケーションが増えた	23.8%	仕事に集中できるようになった	9.5%	仕事効率が上がった	7.6%
時短勤務 (n=102)	家族などとのコミュニケーションが増えた	21.6%	仕事効率が上がった	17.6%	仕事に集中できるようになった	15.7%
フレックスタイム制度 (n=96)	仕事効率が上がった	30.2%	仕事に集中できるようになった	25.0%	家族などとのコミュニケーションが増えた	18.8%
短時間勤務・短時間正社員 (n=90)	家族などとのコミュニケーションが増えた	21.1%	仕事効率が上がった	17.8%	仕事に集中できるようになった	16.7%
在宅ワーク (n=33)	家族などとのコミュニケーションが増えた	30.3%	-		仕事効率が上がった	24.2%
	仕事に集中できるようになった					

『育児休暇』や『介護休暇』、『時短勤務』、『在宅ワーク』などでは「家族などとのコミュニケーションが増えた」との回答が多い結果になりました。また、『フレックスタイム制度』により「仕事効率が上がった」との声も多く集まっています。とくに『在宅ワーク』では「家族などとのコミュニケーションが増えた」、「仕事に集中できるようになった」と 30.3%の方が回答しました。働き方改革の制度により、家族などとのコミュニケーションが増え、仕事も効率化されるなど様々な効果を得ていることがわかります。

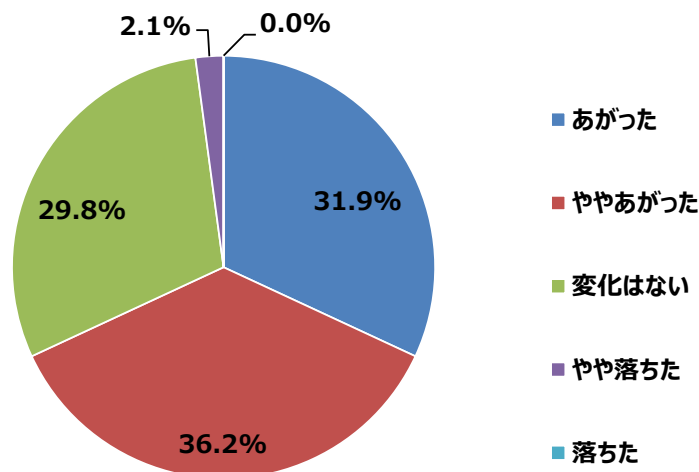
**Q5.在宅ワーク・テレワーク・モバイルワークのいずれかを導入していると答えの方にお聞きます。
あなたはどこで働いていますか。働いている場所を全てお答えください。【複数回答】(n=47)**



前問で、多くの方が、「家族などとのコミュニケーションが増えた」、「仕事に集中できるようになった」と回答した『在宅ワーク』ですが、在宅ワーク・テレワーク・モバイルワークを行っている方はどこで働いているのでしょうか。

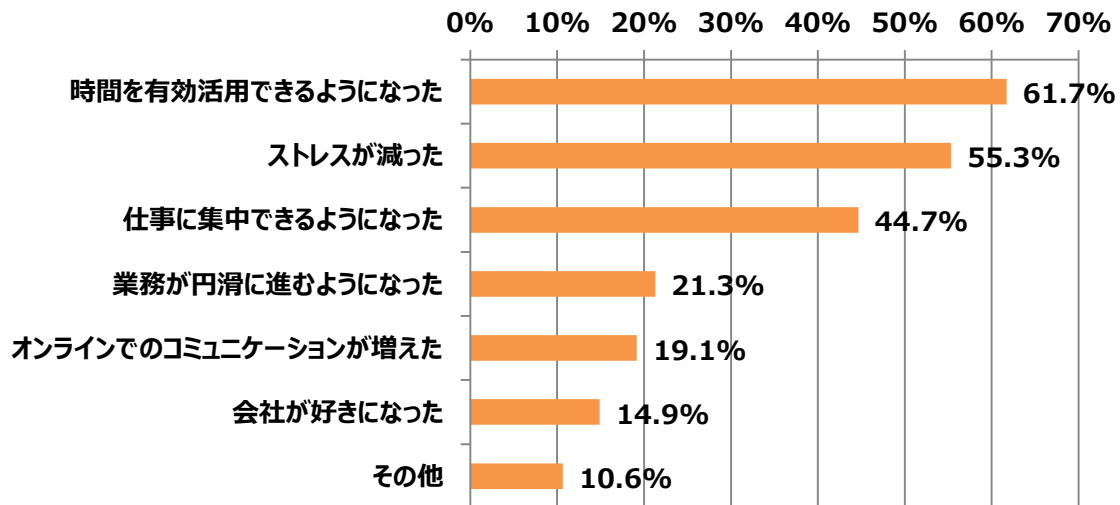
働いている場所をお聞きしたところ「勤務先のオフィス」と回答した方が 85.1%で最も多く、次いで「自宅」46.8%、「カフェ」27.7%と続きます。勤務先のオフィス以外をメインに、自宅やカフェなど様々な場所で勤務していることが調査から明らかになりました。

Q6.在宅ワーク・テレワーク・モバイルワークのいずれかを導入したことにより、仕事の効率はどのように変化しましたか。【単数回答】(n=47)



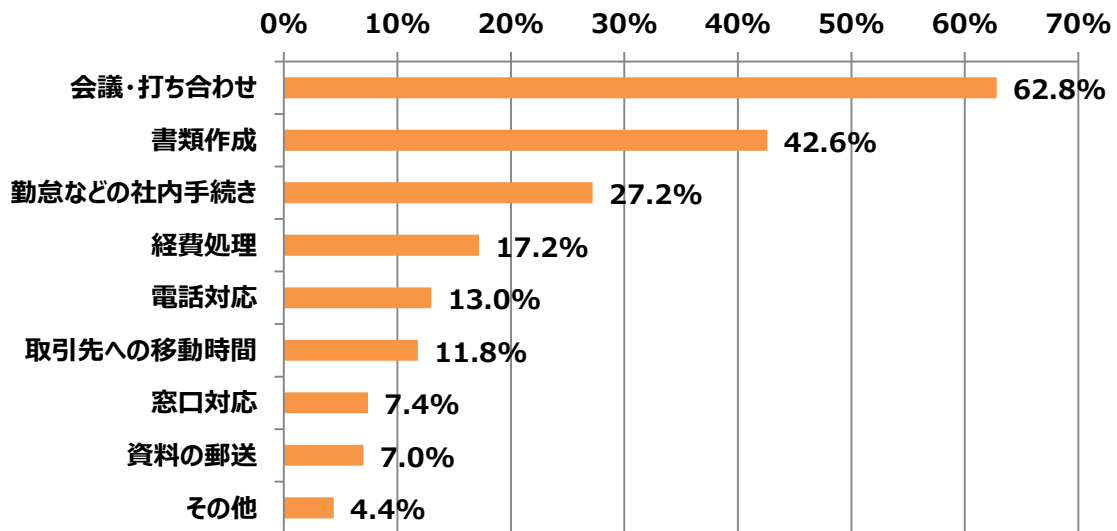
在宅ワーク・テレワーク・モバイルワークのいずれかが導入したことにより、仕事の効率は「ややあがった」と回答した方が最も多く36.2%、「あがった」と回答した方は31.9%となりました。合計 68.1%が仕事の効率があがったと回答しています。「やや落ちた」との回答は 2.1%にとどまり、「落ちた」と回答した方はいない結果になっています。自宅でも集中して仕事をしていることがうかがえます。

Q7.在宅ワーク・テレワーク・モバイルワークのいずれかが導入する前と導入した後で変わったことをお答えください。
【複数回答】(n=47)

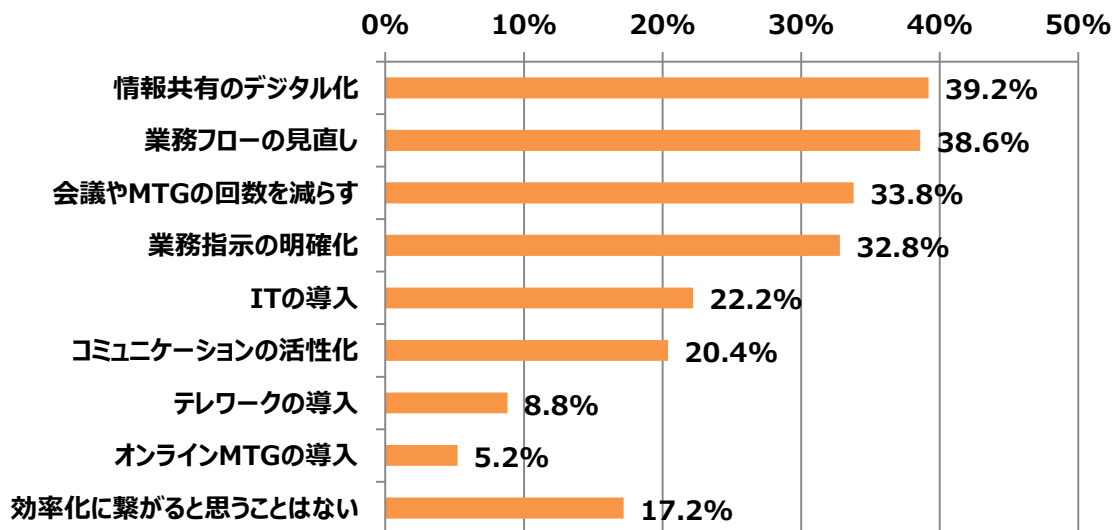


在宅ワーク・テレワーク・モバイルワークにより、「時間を有効活用できるようになった」と 61.7%が回答しました。「ストレスが減った」55.3%、「仕事に集中できるようになった」44.7%と続きます。場所にとらわれない働き方を導入している企業は 1 割程度となりましたが、多くの方が効果を感じているようです。

Q8.あなたの職場で、効率がよくないと感じることをお答えください。【複数回答】(n=500)

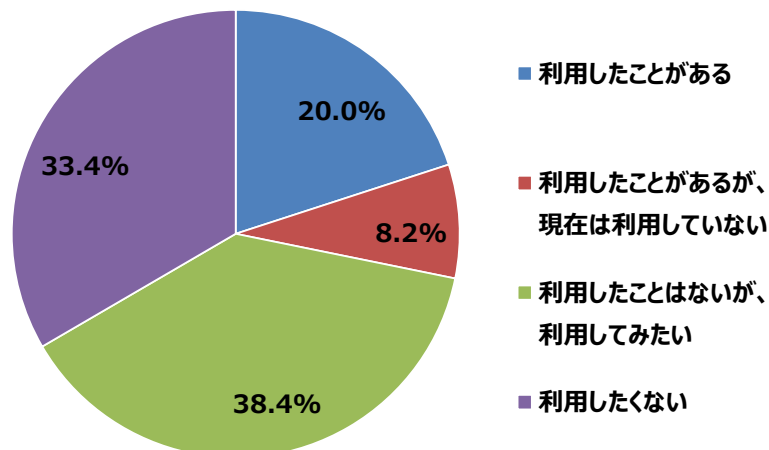


職場で効率が良くないと感じることは「会議・打ち合わせ」が最も多く 62.8%、次いで「書類作成」42.6%、「勤怠などの社内手続き」27.2%となりました。また、「電話対応」や「取引先への移動時間」も効率が良くないと感じているようです。

Q9.以下から、仕事の効率化につながると思うことをお選びください。【複数回答】（n=500）


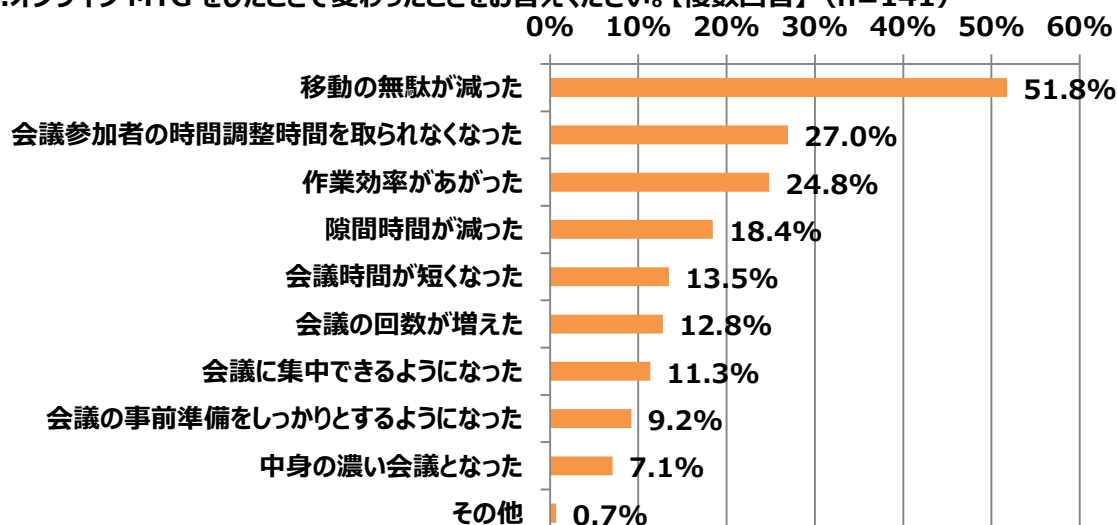
仕事の効率化につながると思うことは「情報共有のデジタル化」39.2%が最多となり、次いで「業務フローの見直し」38.6%、「会議や MTG の回数を減らす」33.8%と続きます。「テレワークの導入」は 8.8%にとどまる結果となりました。

在宅ワーク・テレワーク・モバイルワークでも「情報共有のデジタル化」や「会議や MTG の回数を減らす」ことは仕事の効率化につながる項目です。また、「オンライン MTG の導入」を回答した方は 5.2%と少ない結果になっていますが、在宅ワーカー・テレワーカー・モバイルワーカーとの会議や MTG を「オンライン MTG」にすることも効率化につながります。場所にとらわれない働き方をする上で“デジタル化”や“オンライン化”は、より重要になってくるのではないのでしょうか。

Q10.あなたは、今までにオンライン MTG を利用したことがありますか。【単数回答】（n=500）


オンライン MTG の経験者は計 28.2%にとどまる結果となりました。また、「利用したことはないが、利用してみたい」と回答した方が 38.4%で最も多い結果になっています。

Q11.オンライン MTG をしたことで変わったことをお答えください。【複数回答】(n=141)



オンライン MTG 経験者に、オンライン MTG をしたことで変わったことをお聞きしたところ、「移動の無駄が減った」、「会議参加者の時間調整時間を取られなくなった」、「作業効率が上がった」などの声が多く集まりました。まだまだ経験者の少ないオンライン MTG ですが、仕事の効率化につながると言えそうです。

■まとめ

働き方改革の取り組みから 1 年半ほど経過していますが、今回のアンケートでは実際に取り組んでいる企業は 4 割程度にとどまる結果となりました。取り組んでいる内容・取り組んで欲しい内容は「時間」と「場所」に関わる項目が上位となっています。働き方改革のおかげで「家族などとのコミュニケーションが増えた」、「仕事に集中できるようになった」との声が多く、働き方改革は一定の成果をあげているようです。テレワーク・モバイルワーク・在宅勤務者の成果は「上がった」計が約 7 割となり自宅でも集中して仕事をしていることがわかりました。

また、仕事の効率化につながると思うことは「情報共有のデジタル化」39.2%が最多となり、「テレワークの導入」は 8.8%、「オンライン MTG の導入」は 5.2%にとどまる結果となりました。オンライン MTG 経験者は、「移動の無駄が減った」、「会議参加者の時間調整時間を取られなくなった」、「作業効率が上がった」と回答しています。

在宅ワーカー・テレワーカー・モバイルワーカーとの会議や MTG を「オンライン MTG」にすることも効率化につながります。場所にとらわれない働き方をする上で「デジタル化」や「オンライン化」は、より重要になってくるのではないのでしょうか。

■引用・転載時のクレジット表記のお願い

※本リリースの引用・転載は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。

<例>「meet in が実施した調査結果によると……」

■サービス概要

いつでも、どこでも、すぐにミーティングを。

面倒な設定は一切不要！1 秒でつながるオンラインコミュニケーションツールです！

<https://meet-in.jp/>



…本件に関するお問い合わせ先…

meet in 広報事務局 担当：野々村 友野

E-mail : press@one-inc.co.jp

■ meet in (ミートイン) とは？

1 超ラクチン

アプリのダウンロードやログイン・固定回線は一切不要。

meet in の TOP ページ上で作成した URL を共有するだけでスタート可能。

世界中どこにいてもパソコンやタブレットが 1 台あればいつでも meet in。

※URL 作成フォームは meet in を活用している会社のホームページにもついています。



2 超簡単

ワンアクションで資料やメモを一発共有。

資料を共有したければ、画面にドラッグ & ドロップで一発、共有。

録画もメモの共有も画面の共有もクリック一つで簡単に。

会わなくてもいつでも、だれでも簡単にミーティングができるミートイン。



3 超便利

名刺交換や複数人接続などコミュニケーションツールが満載。

1 対 1 でのミーティングに限らず、複数人でのミーティングも可能。(特許出願中)

名刺交換機能や万が一ネットが途切れた場合に備えた固定電話機能など、

コミュニケーションに欠かせない便利な機能が付属されています。



会社概要

会社名 : 株式会社 meet in

所在地 : 〒171-0014 東京都豊島区池袋 2-6-1 KDX 池袋ビル 9F

代表取締役 : 三浦 陽平

事業内容 : オンラインコミュニケーションツールの開発
オンラインコミュニケーションツールの OEM 提供
オンラインコミュニケーションの教育研修

設立 : 2017 年 1 月 27 日

URL : <https://meet-in.jp/>